再評価結果（平成１８年度事業継続箇所）

担　当　課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道８号　福井（ふくい）バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：福井県あわら市笹岡（ささおか） 至：福井県越前市塚原町（えちぜん つかはら）			延長	４２．２km

事業概要

国道８号は、新潟県新潟市を起点とし、京都市に至る全長約560kmの主要幹線道路である。福井バイパスは、県都福井市及び隣接市町における中心市街地部の交通混雑を緩和し、併せて市街地周辺における地域開発の基盤を整備するために計画された全長約４２ｋｍにわたる道路である。

Ｓ４１年度事業化	S45～55年度都市計画決定（H3年度、H8年度変更）	Ｓ４１年度用地着手	Ｓ４１年度工事着手

全体事業費	約８２０億円	事業進捗率	８９％	供用済延長	36.8km
計画交通量	１８，３００台／日				

費用対効果分析結果	B／C	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) ４．２ (残事業) ３．７	90/1790 億円 事　業　費： 62/1611億円 維持管理費： 28/ 176億円	333/7503 億円 走行時間短縮便益： 308/6840億円 走行費用減少便益： 18/ 539億円 交通事故減少便益： 7/ 124億円	平成１７年

感度分析の結果　残事業（事業全体）について感度分析を実施
交通量変動：B/C=3.8(交通量+10%)　B/C=3.6(交通量=-10%)
事業費変動：B/C=3.4(事業費+10%)　B/C=4.0(事業費=-10%)

事業の効果等
・円滑なモビリティの確保（並行区間等における年間渋滞損失時間の改善が期待される）
・安全で安心できる暮らしの確保（第３次医療施設である福井県立病院へのアクセス向上が見込まれる）
他18項目に該当

関係する地方公共団体等の意見
福井バイパスは、福井市及び隣接市町における中心市街地の交通混雑の緩和、市街地周辺における地域開発の基盤整備等に重要な役割を果たすことが期待されており、あわら市をはじめとする福井県福井バイパス道路建設促進協議会より早期整備の要望（平成17年11月22日）を受けている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
沿線地域は、人口はほぼ横ばい傾向にあるものの、人口あたりの自動車保有台数は増加している。

事業の進捗状況、残事業の内容等
道路幅員変更による用地の追加買収に時間を要したが、用地買収を完了し、現在までに35.4kmについて４車線化、1.4kmについて暫定供用している。

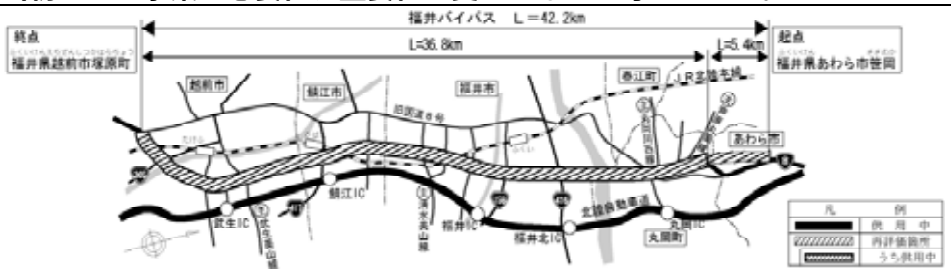
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
２車線区間の４車線化を平成20年度に行うとともに、バイパス区間については平成20年代後半の全線供用を目指し、事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等
施工にあたっては、公共工事の建設発生土を活用することにより、コスト縮減に努めている。

対応方針　事業継続

対応方針決定の理由
以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。